

堀内議員 まず、海部病院移転にあたり、駅前周辺での人の流れが大きく変わっています。予想以上のスピードで小売店などに影響が出始めていると聞いていますが、移転計画時に予想できなかったのか。また、平成24年度の産業大分類別の売り上げを見ると、牟岐町では卸売業・小売業の割合は最も高い56%となっており、牟岐町の産業では重要な分野であります。教育や観光など、さまざまな取り組みが行われていますが、結果が出る前に事業所等が激減、もしくは他町へ移転するとどうなるでしょうか。雇用の流出だけでなく、産業への影響も大きく響くことが予想されます。勿論、各事業所の努力も必要ですが、大きすぎる変化には対応策も限界があるのが現状です。役場移転も検討されるなか、重要で交流人口も多い施設などの変化は経済への影響も材料に議論を進めなければ良からぬ影響が出る可能性を含んでいます。将来の取り組みも必要ですが、既存の産業に影響が出ているなか、優先順位の高い問題だと考えますがどのような見解でしょうか。つぎに改築・改修施設の運用計画は。旧牟岐小学校・旧河内小学校・船戸荘など、改修された施設は計画どおり運用されていると思えないが、当初の計画どおり使用されているのか。また、今回説明のあった町民センターについても当初の改築予定から、わずか数か月で改修計画へ変更されたが、少し計画があまいように感じます。勿論、計画段階での修正は理解できるのですが、サービスや事業と違い、施設は一度建ててしまうと簡単には改善できない。通常のPDCAと違い、計画段階が最も重要であると考えますが、使用期間の予想に基づき、中・長期的に計画されているのか。以上、2点質問します。

杣富議長 福井町長。

福井町長 まず、駅前周辺の人の流れ回復等についてのご質問ですが、まず、海部病院の高台移転は、南海トラフ地震に備え病院の災害弱者に対する配慮から、あるいは、海部病院の町外移転による商工業等への影響を最大限考慮した上での移転であり、止むを得ない選択であったと考えています。また、駅前地区の小売店への影響も当初から危惧されており、造成工事中から、県への検討委員会の設置や、県部局の海部病院跡地への移転もお願いしてまいりましたが、まずは町

としての要望を出してほしいということで、現在に至っています。また、議員ご指摘のとおり、現在の牟岐町は、かつての漁業の町ではなく、商工業の売上の割合が一次産業の10倍近くになっており、一次産業から二次・三次産業への構造変化が進んでいます。したがって、総合戦略においても、観光振興等による交流人口の増加について特に力を入れ取り組んでいるところです。海部病院は、元の位置から500mほど移転いたしました。牟岐駅前の商店街は、未だに海部病院から至近距離にあると言えますし、今年度中に、海部病院から牟岐駅に至る町道も完成いたします。これにより、だいぶ人と車の流れも変わるのではないかと期待しています。何れに致しましても、所信で申し上げましたように、牟岐駅の中心的な位置にある旧海部病院が空き家で何時までも放置されることのないよう、出来る限り取り組みを進めてまいりたいと考えています。つぎに、町有施設の改築・改修後の運用計画の適否についてですが、議員ご質問の中で、旧牟岐小学校・旧河内小学校・船戸荘などが改修されたとされていますが、船戸荘は改修しておらず、徳島大学建築サークルAUTに、交流と人材育成を兼ね、施設の活用等について検討していただいたところです。また、旧河内小学校は、学校統合により廃校となった施設も地域の活性化のために有効活用すべきである、地域の住民の皆さんがこれまで同様に集まれる場所として欲しいとのことで、床材の張替、壁の塗装等を行い、河内小学校で学ばれた卒業された方の利用を可能としているモノであり、一般的に改修でイメージされるような用途変更のための工事は特に行っていません。そして、活用についてですが、旧牟岐小学校も旧河内小学校も、大体、当初の計画どおり使用できていると考えています。つぎに町民センターの計画変更についてですが、議員ご指摘のとおり、当初の改築から改修に変更したというのは、計画が甘いとのこと指摘も止むを得ないと思われま。しかしながら、現在進行中の地方創生の流れの中で、国の補助・助成制度も毎年のように、少しずつ過疎地に有利な改正が行われており、今回のケースも正しくその過渡期のものと思われま。つまり、平成27年度の計画段階では、現在の施設の解体費用も含め改築については過疎債が適用され7割の交付税措置があるものの、改修については補助金も過疎債の適用もなく町単独事業となることから、改築を選択し平成28年度当初予算でご承認いただいたところです。しかしながら、平成28年度の県の過疎債の協議の中で、改修も長寿命化を含めた事業として実施すれば過疎債の適用が可能とのことで、国にも確認の上、財政負担の少ない改修で対応することとしました。なお、今後の使用計画については、関係者とも十分に協議を行い、1階は『おひさまスクール』と、小中学校の工作・技術に使用できる多目的室として、また、2階は、社会体育の柔道・剣道場や、中学校の剣道の授業や部活でも使用可能な大集会室とする計画であり、長寿命化を考慮した改修計画として予算提案をお願いしたいと考えています。以上で

す。

枅富議長 堀内議員。

堀内議員 再問させていただきます。駅前周辺の人の流れについてですけども、いつどのような結果が出るか予想できないものと比べて実際に影響が出ることへの対策は急務だと考えます。急をようする問題では、大まかな対策案を進めながら修正をかけていかないと対応が間に合わないような状況になるのではないかと、6月議会でも何割か現に下がっていると出ていましたので、移転等による影響は一時的なものでなく、積もり積もって取り返しのつかない状態になるかと思われまます。それについて小売業、卸売業方々等々の話し合いだったりとか、あとアンケートというか、そこら辺はできているのかが1点と、改修した施設が計画どおり進んでいるということなので、できたら計画があるのなら示していただきたいと思います。町民センターについても改修して運用していくと計画があるのだったらお示しいただきたいと思うのですが、給食センター等々、当初から許容範囲という声もありましたけど、築2年ほどで改修箇所、何点かでてきています。3月議会で町民センターの建て替え等予算計上されまして、28年6月に視察に、その後、建て替えの検討委員会があって建て替えになっていくという順番も順番的にじっくりこないと言うか、もう少し計画を煮詰めて議会に出していただきたいと思ひますし、もし改修を進めていくのでしたら、なかなか前回視察したときも、なかなか壊れ具合、何て言うか、これをどこまで直してどこまで使用を続けていけるか、また、直すのだったらどこを直すかというのを示していただきたいと思ひます。予算を抑えるためというのは理解できるのですが、改修、改築は別の分、耐用年数であったりとか、費用の差、本当に改修が可能なのか、改修した後に不具合が出てこないのかというのが、そういう資料をいただかないと、なかなか検討しづらいのでいただきたいと思ひます。以上2点です。小売業関係等々と話し合いであったりとかされているのかと、改修しても本当に問題なく使用できるのか、後々修理箇所が増えてくるといふことはないのかという2点再問させていただきます。お願いします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 議員の再問にお答えします。まず駅前の人の流れの改善についてですけど、現時点で商工業をされている方にご意見を伺って即効性のある対策を考えるための協議等は現在行っていません。先程も申し上げましたように期待

するのが今現在建築の町道ができることによって人の流れが駅前の方に向かってくるのではないかと、それと、旧海部病院をできるだけ早く検討委員会で検討して県にもご提案して、できるだけ県の施設ですから、県のお力をいただきながら、入所していただけるような方策がないか、そういうふうな検討をしていきたいということです。それと、町民センターについては、担当からお答えします。

枅富議長 田中産業課長。

田中産業課長 私からは、堀内議員の再問の産業課の担当施設であります旧河内小学校、今の河内活性化センターと船戸荘を含めて回答させていただきたいと思います。改修施設の目的という点なのですが、旧河内小学校は、平成26年度に移住定住交流事業の支援、地域資源を発掘振興、農林水産業、商工観光事業等の振興にかかる支援、牟岐町の生活環境維持にかかる支援、牟岐町の行事・イベント等にかかる支援、その他、牟岐町の維持活性化にかかる活動支援等を目的にしまして地域活性化事業の推進を進めるというのを主に目的として改修を進めてきたところがあります。運営体制といたしましては、地域おこし協力隊の隊員を配置しまして、1階を活性化センターといたしまして、2階を牟岐町民俗資料展示館といたしまして運用してきたところです。運営がそれに沿って進めてきているというのかという具体的なところですが、地域おこし隊の方が施設内で地元の人と交流していただいたりとか、いろいろな企画提案をしてくれて、それなりの利用をしてきてくれた経緯があると思っています。また、地元の人たちも2回ほど同窓会とかに使わせてほしい。同窓会するのに場所を使わせてほしいとかいう話もありました。卒業生も有効に使っていただけているのではないかと思います。ただ、当初予定していたのは、将来的に指定管理というふうな方向に管理運営の移行を目指していたところがありますので、その点につきましては、指定管理はまだ行えていませんので、そこは実現にいたっていない点ではあります。あと船戸荘におきましては、町長の答弁のとおり改修をまだしていない物件でして、今、徳大の建築サークルAUTさんに企画提案とかランドデザインをお願いしているところまでして、この

夏に1回ワークショップを開きまして、地元の各団体の方達と一緒に船戸荘のあり方とか船戸荘が牟岐町においてどんなイメージがあるのかとか、そのような最初の段階からいろいろ相談をしていますので、また、企画提案ができましたら議員皆様方にご指摘いただいていますので、きちんと報告したいと思っていますので、よろしく申し上げます。以上です。

杣富議長 浜内総務課長。

浜内総務課長 只今の堀内議員の再問の町民センターの部分の件についてお答えさせていただきます。まず流れる的なものなのですが、当初町民センターの改修と言いますか、計画を立てたのが平成27年の下旬、11月頃だったと思います。その時点から改修案ということで、いろんな話しが出てまいりました。その中で計画する中で財源の確保をどうするかというような問題で、先程町長から答弁がありましたように、補助金、地方債をどのように使えるかというようなことで考えていった中で、改修というものについては、単独事業ということになるという段階でしたので、その段階では建て替えというような計画で進めて行って、当初の予算計上させていただいたわけです。その中で検討委員会を立ち上げまして、計画をしていく段階の中で改修は無理なのかというような提案も出てまいりました。その中で担当部局で県の過疎債担当と協議をいろいろ重ねてまいりました。9月頃だったと思いますが、その過疎債の協議の中で長寿命化、現在の施設が耐用年数が65年、鉄筋コンクリートで65年とされているのですが、それを含めた長寿命化を含めた改築、改修であれば過疎債を適用できるということで、国の確認もしていただいた上で、こういうこともできますよというような検討委員会の中の話しを出しました。その中でそれが使えるのであれば、財源が苦しいのでそちらの方の考えを持ってはどうかということで、議会にこの前の全員協議会でこういった形で改修もできるのですけど、そちらの方で可能でしょうかということで提案させていただいたような形です。それと、今の設計の話の関係になるのですが、今後の計画という

か、長寿命化を含めてという話しなのですが、現段階では正式な設計ができていませんので、今後どのぐらい持たせてどういうふうな改築をするかということは、今の段階では答えられませんけど、もし、今回の改修というのがご承認されて前に進むというのであれば、つぎの12月議会辺りで設計の予算計上をさせていただいて、その計画の段階で何年間持たせるかというようなことも説明をさせていただくようなことになると思います。改修後の不具合の検討の話ですけど、その点についても設計段階で専門業者の中身がわからないと、段取りしてあとの不具合というのは今の時点でどういうところが出るというのが見えないという状況ですので、その設計段階の中で検討していくというふうになろうかと思えます。以上です。

枅富議長 堀内議員。

堀内議員 ありがとうございます。駅前周辺等々について、小売業関係と話し合いをされていないということですので、今現在は非常に影響が出ているというふうに聞いていますので、できれば話し合いの機会を持っていただきまして、どういう要望があって実際にどのような影響が出ていて、現状を把握していただければと思います。改修等につきまして、小学校等々いろんな利用をされているというのわかります。私もイベントしたときに参加させていただいたりすることもありますのでわかるのですが、町民資料館というか、あれも説明どおりされていないですし、町民の方がたまに厳しく言われることがあります。結局あそこは何に使っているのかと言われても、こういうふうに使っていますと言うのですが、どうなっているのかという厳しい質問もいただいています。町民センター等々も町民の方からも厳しく言われることもあります。言っていたことが違うではないか、議員にちゃんと説明してもらってない。本当にもう凄く厳しく言う方は、議員軽視されているようなものなのに、そのままいいのかという人もいます。改修等、改築等みたいなきちんと説明できるような資料を出していただきたいのと、こう比べたらこうですよというこ

と、11月に視察に行ったときと、もちろん改修どうですかという話しも出たのですが、少し難しいという、修理も修理箇所も多いということだったと思うのですが、その説明をして何か月後に改築が出てきたといっても、なかなか住民の方が納得できる説明がしにくいので、そこら辺を踏まえて今後、説明、計画は慎重にしていきたいという要望をして一般質問を終わります。